能力發展



ふじた・けんじ 1965 年生まれ、 60歳。太田一高卒業後、家業を継 ぐため上京し、理容・美容の資格 を取得・修行ののち帰郷。2010 年 に常陸太田市議会議員に初当選し、 4期15年務める。座右の銘に『有言実行』を掲げ「先に考えを述べ

てから、責任を持って行動したい。 言葉にしたことはやり遂げる」と 宣言。体を動かすことや外出を好 み、休日はゴルフや旅行を楽しむ。 「最近は忙しくて機会がないが、時間をみつけて心身ともにリフレッ シュしたい」と笑う。

して、市道0139号線をはの補助金のほか、起債を活用 いて、毎年、通学路の危険簡学路安全対策連絡協議会にお 市教育委員会が所管する市通 いる。市道の整備を計画的に進めて 舗装整備については、国・県 しめとした幹線市道や、生活 また、通学路については



で、県平均より、それぞれ約約3・5%、舗装率が約61% 道路を有しており、改良率は

内でも上位となる非常に長い 6路線で延長が約16105

24年度末時点)となる。

市内道路の整備について】

常陸太田市の市道は530

5%低い状況となっている。

このため、市道路の改良・

東部地区への企業誘致を推進

刀』と市職員を中心とした 行っている。 こうした 『市民 展につなげていきたい 取り組み、 につなげていくための施策に やしていき、定住人口の確保 を拡大しながら、移住者を増 次の世代に引き継いでいく。 実に築いてきた文化や歴史を 思いで市長選に立候補した。 **発展に取り組みたいというと** のつながりを生かしたい市政 を務め、さらに今回これまで りを次世代につないでいきた **| 原陸太田市に対する愛着や誇** に多くの市民団体が活動を 人口減少が進む中、交流人口 争してきた。そうした中で、 いという思いから市議会議員 市内には、ありがたいこと 市政においては、先人が着 持続可能な市の発 【新総合体育館整備】 り組み主要な建設事業の取 単なる市民体育館にとどま

ではなく、 の交流拠点や重要な防災拠点 の大会を誘致することで、子 たい 世代に愛される施設を目指し 面積6875㎡) として、多 などとなるアリーナ(延べ床 らず、スポーツを楽しむだけ どもたちが夢や感動を実感し さらに、トップレベル 大規模な催事など

『行政力』の両輪が同じ方向

てもらえたらうれしい。

防災拠点としては、約53

は

市の生命線とも認識して

2・1㎞) で計画する本事業

5㎞(うちトンネル区間約

間)、非常用飲料水(850)の避難スペースのほ 金沢町までの全体延長約5・ 0 【市道0139号線整備】 定している。 2028年度の供用開始を予 て取り組みたい 設になるよう、地域で連携し 県北内陸地域の核となる施 常陸太田市幡町から日立市 新築工事は着手しており、 などを備える。

指して、 が施工中。今後は、道路改良工事1カ所と上部工事1カ所 手予定で、29年度の完成を目 27年度からトンネル工事に着 工事や橋梁工事を進めつつ、 は道路改良工事と橋梁の下部 橋梁下部工事が完了し、 進捗状況として、2カ所の 県と連携して進めて 現在

> の締結を予定している。緊急 団地連絡協議会との災害協定 保として、近日に宮の郷工業

本路線の重要性など などの施設提供が受けられる 時に高台の避難が可能とな 事務所の会議室やトイレ

て 地域建設業者に向け

心・安全な市民生活を確保す

市と建設防災協議会は、

報収集ができるようになっ 短時間で避難状況の把握や情 難状況などの情報伝達ができ 市と避難支援者の双方向で避 ようになる。 へした。 本システムにより **©電話一斉配信システムを導** 県内初の取り組みとして

る中、工事施工においても 費や資材費の高騰の影響があ ICTなど新たなデジタル技 建設業界では、近年で人件

を心よりお願いしたい だと考えている。持続可能な るためには、大雨や大地震な 市の発展に引き続きのご協力

込み新就任の抱負・意気 私は、この地で生まれ育 さまざまな市民活動に従 し、共に取り組んでいきたいと展望を述べた。大型事業となる新総合体育館や市道 0139号線、東部地区の企業誘致では、確実に完成に結び付けたいと意欲を燃や 愛情や誇りを次世代につないでいくことを使命に掲げ、市民と市職員が連携・協力 5月に行われた常陸太田市の市長選挙で初当選を果たした藤田謙二市長。 市への 新就任の意気込みや地域建設業への期待など、今後の展望を聞いた。 うに、丁寧に説明して、しっさまにご理解をいただけるよ まな施策について、市民の皆 重要だと考えている。さまざ 要 事業を積 開していきたい。 でいくために、市では大型プ かり前に進んでいけるよう展 市の魅力を次世代につない

たい。 になるように取り組んでいき

る。新総合体育館整備や壭首ロジェクトが動き出してい もらうとともに、新たな地域 力を内外に効果的に発信して 推進しながら、有形無形の魅 らにシティプロモーションを と完成に結び付けていく。さ 0139号線整備、東部地区る。新総合体育館整備や市道 資源を開発し、選ばれるまち まちへの愛着や誇りを感じて いくことで、市民の皆さんが への企業誘致など、しっかり 、東部地区 けて鋭意進めていく。 在数社から引き合いを受けて 街区の3区画が募集中で、現 果を進めている。北側C、 地区への進出企業について募 【東部地区への企業誘致】 めてまいりたい 説明の場を設け、多くの方にについて、広く市民に向けた いる状態。全区画の立地に向 こ理解をいただけるよう、

新市街地開発地となる東部

藤

常陸太田市長就任インタビュ

詳細については、近くお知ら用施設の整備が進んでいる。要望が強い書店やカフェ、共 【防災対策の取り組み】 せできるかと思う。 (1・5 ha) では、市民から また官民連携複合施設

杨

協定を締結するなど、官民連 えている。民間事業者と災害 対策の強化が急務であると考 命と暮らしを守る防災・減災 発・激甚化する中で。市民の 向けて、近年で自然災害が頻 安心・安全なまちづくりに

環境づくりを行っている。 置を行い、安全・安心な道路 カーブミラー、 道や横断歩道の設置のほか が必要と判断された箇所の歩 さらに、本市の基幹道路と

や通勤環境の改善、東部地区 日立市内の病院への救急搬送 いる。本路線の開通により、

活性化が期待される。 等の商業施設への誘客による

携による対策・環境整備を進

緊急的な

一時避難場所の確

備要望を行っている。 業へ対する予算確保を含め整 なる国道293号、 道路の県道についても、県事号、461号をはじめ、肋骨 注意看板の設 349

報の把握に努めており、令和ロールにより、早期の被害情震発生時には、道路等のパト 本協議会から6社の協力をい 導入した。操作訓練や実動 24年度に排水ポンプ車2台を る内水対策への対応として とに深く感謝を申し上げる。 生した災害ごみの搬出につい 旧工事の実施や、久慈川堤防 議会と関係各社による災害復 元年台風19号の際には、本協 も、併せて御礼を申し上げる。 ただいていることについて ても、ご協力をいただいたこ 決壊による床上床下浸水で発 また、近年の集中豪雨によ



会(会長=根本敬久 [根本工 旧工事に関する協定を結んで

いる常陸太田市建設防災協議

確な復旧を実施していただい

河川、排水路等の迅速かつ的 務所〕)においては、道路や

ている。

大雨時や震度5を超える地

認識している。

2日制への対応など、難しい方改革に伴う建設現場の週休 術への対応や、少子高齢化に よる働き手不足の中での働き 会社経営となっていることと

努

このような中、災害応急復

常陸太田市建設防災協議

常陸太田市山下町1252-3 TEL 0294-72-2964 FAX 0294-72-6499

敬久 (㈱根本工務所) 숲 長 根本 副会長 井坂 陽介(㈱ 井 坂 組) 副会長 小林 信昭(㈱小林建設)

副会長 梅原 基弘 (㈱梅原工務店) 副会長 後藤 一憲 (㈱後藤工務店) 宇野 光雄 副会長 (何) 宇野建材)

슸 沢 建 設 烘 (有) 会 沢 \pm 建 (株) 井 坂 組 井 建 設 (有) 石 (有) 石 橋 \pm 木 (有) 宇 野 建 材 野 建 設 (有) 宇 (株) 梅原工務 店

木 建 設 (株) \star (株) 岡 \blacksquare 建 設 樫村工務 (有) 店 珂 発 北 ㈱ (有) 黒 澤 組 (株) 小 池 住 建 後藤工務 (株) 店 (株) 林 建 設 小

(株) ジオ 常 陸 (有) 柴田工務 店 府 (株) 水 I 務 店 (有) 助 Ш I 務 店 (株) 鈴 木 組 須 藤 建 設 (株) 世 紀 開 発 (有) 瀬 谷 建 設 (株) (株) 瀬谷テッ ク 大 光 建 設 (株) 原 建 (有) 立 設 ф 央 建 設 (株) (有) 飛 \blacksquare 組 (有) 富岡 I 務 店 **旬生田目工務店** ㈱根本工務所

(株) 八丈 建 設 陸 常 建 設 (株) \Box 立 商 事 (株) (有) 丸 勝 建 設 ㈱ 吉 沢 工 務